

銘柄分析レポート：今、買うとすればどの銘柄か

1 はじめに

会社四季報オンラインの記事『「政策バブル」で歪められた金融市場の危険性』を興味深く読みました (<https://shikiho.jp/news/0/345193>)。琴線に触れた箇所を引用します。

要するに、今の株高はミニ「政策バブル」だ。今後も、大統領選を控える米国を中心に次々と大規模な経済対策が連打され、しばらく政策バブルが続く可能性もないわけではない。

だが一方で、ファンダメンタルズの傷の深さをしめす材料もこれからどんどん出てくるだろうから、ファンダメンタルズとの乖離は意識されやすくなる。このような化けの皮が剥がれやすいバブルに乗るのは、リスクな戦略と言えるだろう。

私も同意見です。常識的に考えれば、今後、深刻な不況に陥るのは明らかで、その割に足元の株価水準が高過ぎます。化けの皮が剥がれるまで、投資資金はキャッシュで持っていた方が無難ではないでしょうか。

しかし皆さんの中には、少し株を買いたい方もいらっしゃるかもしれません。その場合、どの銘柄を買えばいいのか、考察してみました。ポイントは「既に株価が下げており、割安であると思われること。配当利回りがそこそこ高いこと」です。

★日経平均 株価チャート

